(伝道者の書 抜粋私訳 九~十二章

あなたの創造者を覚えよ。あなたの若い日に。		12:1
災いの日々が来て、「私には何の喜びもない。」と言う年が近づく、その前に。	が近づく、その前に。	
太陽と光、月と星が暗くなり、雨の後にまた雲が戻って来る、そ	る、その前に。	12:2
その日には、家を守る者は震え (手が震え)、		12:3
力ある男も身を屈め (足がたわみ)		
粉ひきは減って止まり(歯が抜け)、		
窓から眺める女は暗くなり (目はかすみ)、		
通りに面した扉は閉じられ (引きこもり)、		12:4
粉ひく音は低くなり (食欲が細り)、		
鳥の声にさえ起き上がり(眠りが浅くなり)、		
歌う娘たちもみなうなだれる(耳が遠いため歌い手を失ぬ	い手を失望させる)。	
さらに彼らは高い所を恐れ、道には恐怖があり、		12:5
アーモンドの花は咲き (白髪になり)、		
ばったは重荷を負い、気力が衰える。(よろめき歩き)		
み、		
)
(かけがえ	が壊れ)	
霊(息)はそれを下さった神に帰る、その前に。(そのようになる前に、ちりはもとの地に帰り、	なる前に、あなたの創造者を覚えよ)	12:7
「すべては空しい!」と。「何と空しいことか!」と説教者は語る。		12:8
思索し、探求し、多くの格言をまとめた。そしてさらに、説教者は知恵ある者で、民に知識を教え、		12:9
しかも、真理のことばをまっすぐに記した。説教者は、ふさわしいことばを見出そうと捜し、		12:10
その編集されたものは、よく打ちつけられた釘のようだ。知恵ある者のことばは、(家畜を動かす)突き棒のようなもの	なもの、	12:11
Ć.		
これに加えて、わが子よ。注意せよ。		12:12
多くの本を作るのには、限りがない。多くの研究をしても、身体	身体が疲れるだけだ。	12:12
これらすべてを聴いてきたことの結論とは、		12:13
神は、善であれ悪であれ、すべての隠れたことについて、すべて「神を恐れ。その命令を守れ」。これこそが人間にとってすべて	ヶべての行いにさばきを下される。,べてである。	12:14

あなたの心から苛立ちを去らせ、肉体から災いを取り去れ。

11:10